いわき民報
發行所　いわき民報社
平市西町一番地（電話三八一番）
編輯兼印刷人　千輝克己
日刊但月曜日を除く
定價一ヶ月五円　一部二十錢

電話新設
一四四番
毎度有難うございます
御履物類卸小賣
大平芳太郎商店
湯本町上町

地區防疫本部を新設

平保健所が赤痢蔓延に備へ

濱三郡に强力對策陣を布く

二十余名に達した草野村の集團赤痢、夏井川附近の赤痢發生等相次ぐ飛報に平保健所では十一日縣廳より中曾根技師を招き濱三郡保健所、各警察署、各醫師會、藥劑師會より十五名出席の下に協議濱通り三郡及び平市は十五日から一週間赤痢對策豫防週間を實施するに決定、徹底的患者の檢索、傳染病棟（隔離病舍）の整備、防疫教育の徹底を期する爲平、浪江、原町に地區防疫本部を設置、縣の指令に基き前記要綱の徹底的實施を計ると共に各種團体の協力を求める事になつた、實施手段としては醫師會と藥劑師會を主力とした防疫班を編成して患者の檢索及指導にあて、集團的發生（同一地區に同時に六名以上發生したものを集團發生と認む）に對しては醫療團平病院を主力とする應援防疫班を編成して之が治療及消毒防疫指導に當る、防疫教育としては縣民防疫心得（一般用、發生市町村用）、患家心得患者發生地區心得等の印刷物を作成配布すると共に新聞、ラヂオ等の報導機關に依り之が徹底を計る事になつた、地區防疫本部、防疫班の編成は一兩日中に決定される、尚本年の赤痢は從來の駒込赤痢とちがひ死亡率の高い点と菌の檢出困難な点から見て志賀系の赤痢と推定されるので別に專門委員會を設定して之が對策に當る事にもなつた

常磐炭礦勞組單一化へ

十部の專門部をも設けて役員も決定强力に再發足

常磐炭礦勞働組合聯合會ではかねて單一組合の結成を準備中だつたが、全く整ひ今度〃常磐炭礦株式會社內鄕礦勞働組合〃と銘打つて單一組合を結成、正副組合長以下の役員を左の如く決定、本部は文化、青年、組織、增產、調査、配給、厚生、婦人連絡、宣傳の十部の專門部に分類、活潑な活動を開始することに決つた、尚正副組合長は選擧により決定されたものであるが單一化した今後の同組合の活躍には大きな期待がかけられてゐる

▼組合長渡邊勝治　▼副組合長本田辰雄　▼本部書記長小柳利平　▼文化部長樋口常三　▼配給部長篠田隆　▼青年部長佐藤作治　▼厚生部長齋藤茂　▼組織部長本田辰雄　▼婦人部長山野邊なみえ　▼增產部長吉田勇喜男　▼連絡部長小柳利平　▼調査部長高島末松　▼宣傳部長末永松郎　▼文化部顧問原秀雄

父兄の手で校舍修理

校友會費倍額に

磐女の父兄會が磐城高女校友會總會は九日仝校に開催、校友會費從來五圓のものを十圓とし今年一ヶ年增徵、この增徵で得た八万八千圓を以つて校舍の腐朽も甚しいのでこれを修理並に設備の改善に充當しやうとのものである、父兄の手に依つてこの点にまでの心遣ひに學校當局も感激してゐる

湯本町の經濟懇談

湯本町では三取座で八日午後から占値目的に有害な行爲に關する勅令の趣旨の徹底をはかると共に今後町から忌しい闇の一掃を期するため平署から大竹署長、管野經濟主任等の臨席を得て、生產、消費及び業者連六百余名を集めて協議打合會を開いた

今後水が心配の種

稻作現況平年より稍良好

豐作を豫想された稻作も客月末からのぐづついた天候に伸び止りして又々不作か？と郡民を不安に陷し入れたが、ここ數日來の上天氣は水不足をも傳へられ一般の關心を上げたり下げたりしてゐるが、之につき農業會支部では、一時天候不順のため折角伸びざかりの稻の成長を止めた事は事實ですが現在の天候の狀態では豐作とは云へないが平年作より稍良好と云へやう、大野に一部稻熱病が發生、平窪にウンカ病が出て多少の被害があるが慨して平年作よりは良い樣だ、たゞ何處でも共通だが秋落の肥料不足と出穗期の水不足が結實を左右するので憂慮してゐる、夏井附近の水不足、飯野高久方部の動力揚水等が傳へられてゐるが測候所の觀測では當兎雨は望めず、あつても少量との事で二十日頃から絕對に必要な水だけが今からの心配の種であると語つてゐる

尋自轉車
本社專屬自轉車（中古品）が十日午前九時十分から仝二十五分迄の間に平署玄關口から紛失致しました、お心付きの方がありましたら本社宛（電話三八一番）御知らせ下さい、
特徴
イ、荷物受が普通より細い丸棒で小型作り、二ヶ所破損してる
ロ、左のペタルが破損してる
ハ、後部泥よけに福島民報と朱書してある
いわき民報社

踊に賑つた舊盆の四倉

睦會が盆踊大會

四倉町では九日の舊盆（八月十三日）に當り睦會の主催で仲町中央に櫓を建て盆踊大會を催したが、隣接の大浦、大野兩村からも石城名物ジャンガラ念佛踊等が繰出し新盆家庭を慰め戰前にもました賑を呈した

新盆家庭へ鮮魚を特配

平海產物共販組合では新盆の家庭五百戸へ鮮魚を特配すべく八方集荷に努力してゐたが漸く確保するに至り、十四日午前八時から正午頃まで各配給所で配給する、數量は一戸一貫メ位

尚海外引揚同胞三百世帶八百人に對しても近く特配する方針のもとに集荷に努力を拂つてゐる

明るい希望に踊り拔く盆景氣

美妓總參加

趣向を凝らす田町の盆踊大會

豪華な舞臺も新設し畫はレコード音樂會

〃盆の十三日踊らぬやつは木佛金佛石佛〃の盆唄の文句ではないが、今年こそ解放された喜びに踊つて踊り拔いて石城名物の盆景氣を音頭に叩き出してものは不足ながらも健全な自由な、明るい生活を築き上げやうと平市を始め、郡下各町村は勿論、各炭礦でも工場でも早くも青年や勞組を中心に夫々盆踊大會の趣向を練つてゐるので、今年しや街の廣場〳〵に平市でも最も華かな田町青年會では、銀座通りの舊平土地住宅の燒跡に二間の舞臺をしつらへ紅白の幕や造花で裝飾、地元藝戰災跡の空地に、鎭守の森にさては國民校の運動場に迄櫓が林立され、秋の出穗より踊子も揃ひ、あの戰前にもました賑かな盆風景が到る處に現出されやうと妓屋組合とタイアップして、この舞臺上では新田町の綺麗どころを揃へて唄ひぬき、踊り拔かしめると共に、この舞臺を中心に一般の踊子の輪を作つて十五、六の兩晩を心ゆくばかり踊り樂しませやうと早くも諸準備を進めてゐるが、既に大体整つたので十一日から舞臺組立てを始め裝飾等を、會員總出で開始した兎にも角にも新田町の姐さん連が三十余名總出動で景氣を添へるので、平市內のお盆景氣は勿論近鄕近在のお盆もこゝ一箇所に總浚ひの態をみせやうと、逸早く素晴しい人氣を煽つてゐる、尚踊は夜だけなので晝間折角の舞臺を遊ばせて置くのも惜しいとレコードコンサートに依り行人をたのしませる外に素人演藝大會的なものをも催したいとこの点についても計劃してゐる

白銀町では驛廣場で

七丁目鎌田でも夫々櫓をあげて

田町が姐さん連と手を組むならこつちは場所でゆけと、白銀町青年會では例年市內の最好の踊り場所とされてゐる驛前の大廣場に櫓を組めば更らに七丁目青年會でも新發足の行事を先づ盆踊でと熱心湯前の廣場に櫓をしつらへて景氣づけやうと、いはぬが花とばかり計劃を進めてゐる、その他鎌田町等の各區內會でも思ひ〳〵に計劃を進めて居る

いわき寸言

▼集團赤痢の蔓延に平保健所を中心に濱三郡下に三ヶ所地區防疫本部を設定、万全の豫防陣を布くとある、やゝ泥繩式ながら結構、決定の上は迅速に實行に移るべし

▼常磐炭礦勞組聯合會單一組合を結成す、落つくに從つて勞働者も漸くボスの存在を排擊するのは當然勞働者のためにこの傾向を喜ぶべし

▼今年は盆踊大會各地で盛況とある、終戰一年暗い過去の氣分を踊つて踊り拔きさて明るい希望に燃ゆる新日本建設に轉換せよ、盆は樂しむもの粗暴に流るる勿れ

▼今後水不足の心配さへなければ平年より稍良好の稻作況とある、食生活の暗い氣分もこれでやゝ慰められる雨よ降れ〳〵たゞ天に向つて祈る

▼磐女父兄會が校友會費を倍額に引上げて、校舍の修理等に當るとある、子を思ふ親心の表現として嬉しく聽く

書畫骨董　古美術
貴金屬　寶石　高價買入れ
時計・衣類其の他
平市南町平館西隣
中央會館

內科　安田善一
小兒科　佐藤忍
木田茂
師田むめ子
眼科　筒井榮
產婦人科　下田林之介
耳鼻咽喉科　師田むめ子
外科
皮膚科　下田林之介
泌尿器科
臨床檢査室　佐藤忍
藥劑士　足立理義
依田壽美子
富ケ浦病院
小名濱　電三三番

福島縣指定事業重點工場
平硝子製作所
平木工株式會社
社長　佐藤幸太郎
專務取締役　足助重雄
本社　平市新田町二六
電七一・四五五・七七二
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八（烏森ビル）
電(57)四八三二番
工場電話　二九二・二七三
三八九・八三五・三五〇番

外科　諸橋鐵彌
內科　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

果して何を教へるか？

常磐内郷礦勞組の單一化は今后の勞組の在り方へ示唆

終戰後雨後の筍の如く勞働組合が結成され、市郡下だけで既に六十からを數へてゐる、眞に華々しい限りである、だがこの華々しさも表面上のことで、一度内部的に覗く時は寂しいものがある、勞働者の眞の自覺よりも思想と黨派を資本とする所謂指導者により引摺られてゐる傾向が強い、そこにボス的存在も許され折角の勞働者のための勞働者に依る組合も歪められ、徒らに食ひものとなつてゐるもの、さては政爭の具に供されてゐるもの等も尠くない、この時に當り四千余の勞働大衆をその傘下に結成された常磐炭礦株式會社勞働組合聯合會が一切の障碍を熱と力により除去、戰線の統一をはかり單一組合に改組したことは、市郡下の各勞組に一大示唆を與へるものとして注視されてゐる――さて全組合の改組の理由は何處に求めてのことか？全組合本部書記長兼連絡部長小柳利平氏に聽いてみる――

自ら進路は見えむ

高所より勞組の現在を見よ

現在日本の思想の流は共産主義指導理念と、社會主義指導理念と、民主化された資本主義の指導理念及びその他中立的な指導理念に大別される我々はこの思想の眞意を克く究明しなければならない、何故ならば共産主義或は社會主義が日本民族を救ひ勞働者を救ふか？又民主化された資本主義が平和國家を建設し得るか？一朝一夕にその善惡を斷定することはこゝちよつと無理である、然し現實はその國の歷史と民族性とにより或る一定の方向に流れ進んでゐることは申すまでもない、政治行政も、勞働運動も勿論主動的な立場にあるが、その出發に當り即ち世界觀を以つて眞理を求めんとする人と人生觀を以つて純理なりと解する人がある、斯る見方が果して正しいか、正しくないかはさて置き我々の勞働組合の今日の在り方を高所から觀察する時自ら進むべき途が見らるゝと信ずるものである

警戒すべき 舊指導者

大部分が背後に黨派的分子潜む

現在の炭礦勞働組合の思想形態は、勞協系、總同盟系、全炭系中立系等に分布されてゐる、中立的以外の系統は、その背後に黨派的な分子が介在し、盛んに策躍してゐることは明々白々である、これらが互に摩擦抗爭を續け、勞働戰線の統一を阻害してゐる、勞組の任務は勞働條件即ち經濟的維持改善と地位の向上を圖るのが目的であつて、黨派的な主義主張が目的ではないのである、この觀点に於いて眺める時、現在の指導者中には思想と黨派を資本として、たゞ徒らに無智な勞働者を支配せんとする理念を抱いてゐるものが尠くない、こゝに於いて我々は政治と勞働問題に對しての今日迄の研究と經驗をもつて公正な立場より、組合機構の整備をはかると共に實質的な運動を自由に强力に發展せしめ、そこに組合の强化策を生み出さねばならなくなつて來るのである、これは當然のことゝいへやう

無色透明に還元再出發

これこそ今后の生くる途である

從來我々の組合も常磐地方礦夫の組合即ち、總同盟といふ一つの枠の中に押込まれてゐたが以上のやうな觀点から、我々は黨派も思想も强ひられたものは一切排拭し、無色透明な立場にかへり再出發せねばならなくなるのであつた、そこですべての障碍を斷乎打破芟除しこゝに根本から改組、單一組合形態をとるに至つたのである、これが今回常磐炭礦勞組聯合會から内郷礦勞組と單一化せしめたものである、民主々義の基本は健全なる組合の發達と運營とにあるのである、こゝに於いては我々は今后この單一組合の下に一致協力自主的に自らの地位の向上を期し、生活の安定を圖らねばならないと信ずるのである、四千の組合員とその家族の幸福のため、これは當然の歸結なのである

高價買入レ
衣類、金屬、書畫、骨董
平市南町平館隣り　中央會館

やまよし
樂器部を新設しました
お買物は皆樣の
化粧品、固型洗劑、京人形
甘味料、小間物、各種雜貨
平四丁目　電二六八

開放

投書を歡迎す要望批判結構紙上匿名可

電話課へ

▼…本欄に於ける星氏と平局電話課との應酬を見て自分は甚だ遺憾に感じた、何故に遺憾に感じたか？自分はもつと／＼謙虛な氣持ちでありたいと思ふからである、第三者の一加入者としてあの應酬をみた際、私達は快哉を叫んだ、そして何れを是としたかといふ時には完全に星氏の說に敬意を表した、事實星氏のいふところは私達の氣持ちを完全に代表してくれてゐた

▼…過日私は友人のところへ電話してみたときお話中とある、それから暫くして又かけてみたが依然お話中、そこで已むなくテク／＼友人の宅へいつてみてきくと今日はまだ何處からも電話は來ぬとのことであつた、又數日前郡山へ電話した、出ぬこと夥しい、きけば〃向ふは故障です〃と來た、ところがその後二日目に郡山の友人が來てくれた、實は電話したのだが、君のところの電話が故障で通じなかつたといつた

▼…ところがその友人が何といつたと思ふ〃言譯するなよ忘れたら忘れたといへ、僕のところの電話は故障なぞなかつたよ〃と、眞に妙なことで私はすつかり赤面させられてしまつた〃何故に故障だ〃といつたのであらう、郡山線が故障であつたのであらう？それなら郡山線が故障ですといつて貰ひたいものである、これでは不親切を通り越して無責任だといつても過言でもあるまいと思ふが如何であらう

▼…平局の不親切は定評ものだ然るに電話課では〃話中は機械の裝置で即座に判る〃といつてゐるが、その位のことは當方も心得てゐる、然し事實の前には如何なる辯解も通じないのである、更らにこんなこともある、盛んにベルが鳴る出ると何等の應答もない、妙だと思つて今度はこつちから呼んでみると〃間違ひです〃とあつさり來る、間違ひなら最初から間違ひといつて欲しい、こんな例は數へ切れないものがある

▼…大衆を忘れぬ局がどうしてこんな惡評を得るのであらう、忌憚なくいつて大衆を忘れてゐればこそのことゝいはざるを得まい、局の交換孃が惡いのなら技術部にいつて修繕を急ぐことが必要であらう、そんな点をとやかく口實としたがるところに役人根性がさらけ出されてゐるのではあるまいか、謙虛な氣持ちであれば先づ即座に辯明する前に果してかゝる事實をどうするか交換孃達にたゞしてみてその後のことでよいと思ふ、あれでは辯明よりも挑戰である

▼…挑戰も時にとつてよいことである、然し加入者一般は心良くあればみなかつた、万一挑戰とあれば、私達加入者が事實を前にこれから局の御相手をしてもよいと思ふ、第一のこの辯明よりも挑戰的な態度を多分にもつところに君達は知らず役人根性の唯我獨尊的な態度がさらけ出されるのである御不足あらば御遠慮なく御反駁を乞ふ（鈴木武郎）

新盆家庭へ食油類特配

新盆の特配を考慮中だつた市配給課では新盆の家庭調査も此の程まとまり四百五十戸に達したのでローソク、食油、上敷、ゴザ類を近日中に配給する

供米對策協議

九月、十月の危機突破に供出の成績は大きな破紋を投げかけてゐるが地方事務所主体の郡食糧對策委員會では現下の大麥、小麥、馬鈴薯の供出狀況並に將來の見透し更に之が對策に急遽委員會を開くべく各委員に通達、十三日午前九時から地方事務所樓上で協議する事になつた

生活と文化

生と死

千輝克己

（一）

私は人並以上に死を恐れてはゐない。死なねばならぬ時が來れば煩惱具足の凡人として死ぬるであらう。然し私は今から死の覺悟を立派につけて置きたい。大往生でなくとも少くともそれに近い死に方をする、することの出來る自信をつけて置きたいと思つてゐる。

列子は鄭の繆公の時の人と稱せられてゐるが、或は架空の人間であつたかも知れない。だから列子といふ書も余り信用することは出來ぬが、其の開卷第一の天瑞篇に面白い話がある。

百歳近い林類といふ翁が、春だといふのに厚い着物をきて歌を歌ひながら落穗を拾つて行く。たま／＼衛の國に適く孔子がこれを見て弟子達に申しつけた『あの翁は大いに話せる。試みに往つて訊ねよ』と。子貢が走り出て『先生、若うして行を勤めず長じて發奮以つて人に勝たんとせず、老いて妻子なく、死期將に至らんとしてゐる。何の樂があつて穗を拾つて行歌するのですか』とたづねた。すると林類笑つて曰く

『吾の樂しみとする所以は、人皆これを持つてゐるのだが却つてそれを憂とするのだ。若うして行を勤めず、長じて人と競爭せず、故にこんなに長命してゐたのだ。老いて妻子なく、死期將に至らんとしてゐる。故にこんなに樂しいのだ』

そこで子貢更らに反問して『壽は人の情である、死は人の惡である。先生が死を以つて樂しみとするのは何の故ぞや』といつた。

林類の子貢に答へて『死と生と一往一反す。故に此處に死するもの、彼處に生ずるかも分らぬ。若しさうだとすれば、死が壽に及ばないものとは限らないではないかそれから又營々として生を求むるのは惑であるかも知れない、本當にさうだとすれば、今の死は昔の生に優つてゐることになるではないか』と結んだ。

列子の死生觀には何となく引きつけられるが、こんな珍奇な悟りは到底得られさうもない私の現在である

衣類　最高價買入レマス
書畫、骨董、其ノ他
平市大町通り　好雅堂　鈴木

病（やまひ）
一、原因　病氣種別は醫師診斷
一、くすり　醫師處方・藥、家庭藥
一、手當法　本人の（營養）看護熱意
右家庭衛生資材並に其の他相談に應じます
日本健民原生協會指定
生盛藥劑株式會社指定
平市田町（銀座街）
あこう藥局
藥劑士　阿部康雄
電話四十四番

開店
營業案内
洋品雜貨
化粧品類
大工道具
履物類
日用品
平市田町一（電七九四）
同和火災保險株式會社
日產生命保險株式會社
平代理店　まさごや　佐藤陽

白花崗石（シロハナミカゲイシ）
板石各種
建築用　土木用
間知石　一五　一二　相當數アリ
右御注文ニ應ズ
田村郡瀧根町神俣驛前
白石事業部
連絡事務所
白石源一
電話瀧根局